

# 目 次

## ・総括研究報告

- 遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の 作成に関する研究  
(H26- 難治等(難) - 一般 -040) 堀江 稔..... 1

## ・分担研究報告

1. 心室性不整脈の波形による 7 型先天性 QT 延長症候群と  
カテコラミン誘発多形性心室頻拍の鑑別に関する研究 清水 渉..... 9
2. 早期再分極症候群の中長期的予後に関する研究  
青沼 和隆、研究協力：村越 伸行.....12
3. 家族性心房性不整脈の遺伝子基盤に関する研究に関する研究 蒔田 直昌.....18
4. カテコラミン誘発性多型性心室頻拍の診断・治療・遺伝子背景に関する研究  
萩原 誠久.....22
5. 遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の  
作成に関する研究 福田 恵一、研究協力：湯浅 慎介、相澤 義泰.....25
6. 小児期 QT 延長症候群の遺伝子基盤に基づいた病態解明と  
診断・治療法の開発に関する研究 吉永 正夫.....27
7. 独立成分分析と主成分分析を用いた先天性 QT 延長症候群の T 波の解析  
～先天性 QT 延長症候群 1 型と 3 型を対象とした検討～に関する研究  
堀米 仁志、研究協力：高橋 一浩、石川 康宏.....32
8. 遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の  
作成に関する研究 住友 直方.....39
9. 遺伝性不整脈疾患での遺伝子型及びリスク評価について検討に関する研究  
森田 宏.....45
10. ラミン A/C 遺伝子関連心筋症の病態解析に関する研究 牧山 武.....50

11. 早期再分極症候群の薬物療法に関する研究	渡部 裕.....53
12. 先天性QT延長症候群診断基準改定版の有用性に関する研究	林 研至.....54
13. 高齢者 Brugada 症候群の予後と重症度に関する研究	鎌倉 史郎.....57
14. 新生児期 QT 延長症候群の発育・発達に関する研究	白石 公、研究分担：宮崎 文.....60
15. 遺伝性不整脈の遺伝子解析に関する研究	宮本 恵宏、研究協力：太田 直孝、藤山 啓美.....61
16. Andersen-Tawil 症候群におけるフレカイニドの有効性と安全性の 検討に関する研究	相庭 武司.....63
17. ブルガダ症候群の心室細動リスクの層別化における Time-domain T wave alternance の有用性に関する研究	中野由紀子.....66

**. 研究成果の刊行に関する一覧表 ..... 67**

**. 研究成果の刊行物・別刷 ..... 67**